

徳地森の子くらぶ

①令和5年6月24日(土)～25日(日) ②令和6年1月27日(土)～28日(日)

【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者が自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】①小学3・4年生 29名 ②小学3・4年生 30名

【プログラムの内容】

- 1日目 はじまりの会、みんなでなかよくなるろう、徳地の森のたんけんをしよう(スタンプラリー、ビンゴ)、天体観察
- 2日目 アウトドアクッキング(ポトフ、お好み焼き)、おわりの会

「みんなでなかよくなるろう」



自己紹介を取り入れながら、アイスブレイクを行った。はじめは少し緊張していた参加者の表情には、次第に笑顔が増えていった。

「徳地の森のたんけんをしよう」



第1回は「スタンプラリー」、第2回は「ビンゴ」を行った。どちらもグループで活動することを通して、参加者同士の交流を深めることができた。



「天体観察」



天体望遠鏡を使い、土星や木星、オリオン大星雲等の観察を行った。雪が積もる中での観察だったが、一人ずつ順番にじっくりと観察することができた。

「アウトドアクッキング」



第1回は「ポトフ」、第2回は「お好み焼き」を作った。それぞれのグループで薪係と調理係を分担して、グループで協力して活動することができた。

【参加者の声】

- ・「みんなでなかよくなるろう」でカードゲームをやった時、みんなの名前を知ることができてうれしかった。
- ・他のチームの宝箱はわりとすぐに見つけたけど、自分のチームのはなかなか見つからなかったの、探し甲斐があった。
- ・アウトドアクッキングで自分たちでどうするのかなど考えて作るのが大変だった。
- ・天体観察は寒かったけど、初めてのことなのでわくわくドキドキした。

【成果】

参加者アンケートの結果では、参加者全員が満足・やや満足と回答していた。今後がんばりたいこととして、「自然を大切にしたい」「友達と協力して活動したい」「お手伝いをがんばりたい」等を挙げており、キャンプのねらいを概ね達成することができた。また、第2回の「徳地の森のたんけんをしよう」で行ったビンゴは、法人ボランティアが企画・運営を行った。法人ボランティア育成の面でも成果があった。

【課題】

小学3・4年生を対象とした本事業は、各回とも定員を超える応募があり、需要の高いキャンプである。円滑な運営のためには、1班に1人以上の法人ボランティアの確保が重要であり、継続して活動するボランティアを育成する必要がある。